



九州食農セミナー

共催：独立行政法人国際協力機構（JICA）/一般財団法人国際開発センター（IDCJ）
協力：駐日インドネシア共和国大使館

日時

令和2年 1月 22日(水)

開場 12:30	・開 会	／13:30
	・主催者挨拶	／13:30～13:40
	・基調講演1	／13:40～14:30
	・基調講演2	／14:40～15:30
	・基調講演3	／15:30～16:00
	・グループ討議	／16:00～17:30
	・発表 講評	／17:30～17:45
	・交流会（有料）	／18:30～

会場

くまもと県民交流館パレア

〒860-8554 熊本市中央区手取本町8番9号
テトリアくまもとビル 9階 会議室8

講師

木之内 均 氏

有限会社木之内農園 代表取締役会長

宍戸 健一 氏

独立行政法人国際協力機構（JICA）上級審議役

スリ・ヌルヤンティ 氏

駐日インドネシア共和国大使館 農務官

参加対象

◇九州の農業生産者および農業関連企業経営者

「食農セミナー」の目的

- ◇関連法の施行、一部改正により、外国人材の受入が拡大し、労働力不足問題が緩和されるとの期待が膨らむ一方で、受入に関する制度については、他国の類似制度と比較しても必ずしも魅力的とは言えず、継続的に質の高い外国人材を確保するためには、まだ解決すべき問題が多い。
- ◇また、農産物輸出が実を結びつつある中、すでに国際的展開を図っている一部農業法人を除き、海外との農業法人同士、もしくは現地市場との繋がり全般に弱い。
- ◇本セミナーを通して、海外と日本を繋ぐ「架け橋人材」である技能実習生や高度人材（留学生等）の活躍、農業人材の相互交流による農業のグローバル化を支える人材を育成するもの。

基調講演Ⅰ

外国人高度人材による地域農業の活性化とグローバル化について

有限会社木之内農園
代表取締役会長 木之内 均 氏

基調講演Ⅱ

外国人人材受入れ及び海外展開に資するJICAの取り組み

独立行政法人 国際協力機構（JICA）
上級審議役 宍戸 健一 氏

基調講演Ⅲ

インドネシアの農業と日本への期待

駐日インドネシア共和国大使館
農務官 スリ・ヌルヤンティ 氏

グループ討議

- ◇「労働力不足の現状と課題」、「技能実習制度を中心とする外国人労働者の受入状況と課題」、「技能実習生の帰国後の就労支援や技能習得支援」、「外国人材に対するニーズや課題」、「幹部候補としての留学生等高度人材」、「外国人材とのパートナーシップによる日本（九州）農業のグローバル化」等について、九州の大学に留学中の外国人や農業法人にインターンシップで滞在中の外国人の大学生とグループ討議を行って頂きます。
- ◇また、グループ討議には、インドネシア共和国大使館、JICAおよび国際開発センターの職員が参加します。
※本セミナーは無料となりますが、交流会にご参加の方は別途3,000円を頂戴いたします。